



3月23日（土）チーム神於山 定例活動報告

2013.3.25
シャープ社友会
チーム神於山 真砂

■活動日時：2013年3月23日（土） 10:00～15:30

■参加者：社友神於山グリーンサポーター 9名

■活動内容：神於山シャープの森の看板の復元と、シイタケのぼだ木作り。

- ・神於山シャープの森の看板は、柱が腐食したため撤収し基地の倉庫脇に保管していました。
- ・新しく作り直そうという意見もありましたが、ベースの板材がまだ使えそうなのと、看板の裏の作成者のサインに判読出来るものが有ることから、字体を含め元の形に復元しようという事になりました。
- ・古い文字を外し、板の汚れをヤスリで落とし、防腐・防虫塗料を塗り、建仁寺竹を元の字体合わせて切り、ネジ止めして復元完了。
- ・架設は4月13日のSGC活動に持ち越しましたが、杭に止めやすいように板で3文字ずつ横に連結していますから作業はスムーズに進むと思います。
- ・3月9日のSGC活動で打ち残したシイタケの原木にも菌駒を打ち終え、予定した作業を終えることが出来ました。参加頂いた9名のグリーンサポーターの皆さん、お疲れ様でした。
- ・4月14日は、看板を架設し、タケノコ掘りに精を出すことにします。皆さん奮ってご参加ください。

神於山シャープの森の看板の復元 午前の部「シャープの森」 2007年当時の字体の復元がポイントです。

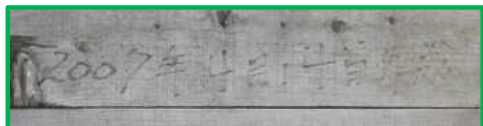


文字を外して並べ、ヤスリで汚れを取り・・・ 防虫・防腐塗料を塗り・・・ 前の文字に合わせて新しい竹を切り・・・



慎重に位置決めてネジで止めました。復元できた「シャープの森」。以前よりコントラストがはっきりしています。

◆残っていたサイン 歴史を感じます。



「2007年4月14日作成」初めて看板を架設した日です。



「※※※ 頭」よく見ると会長のサインです。見えますか？

- ・他に、谷口 実さん、米澤 司さん、帯谷さん、林 あゆみさん・林 知里さん、Mika MORISAKI さん、大野慎治さん、今村義男さんと2008.4.19が判読出来ました。
- ・今村さんの日付は翌年のイベントの日で、この時に、青竹を割って張り付けた初代の文字をAQUOSの足に使った植物由来の銀色の塗料で塗った竹に張り替えていますから、文字は今回で三代目になります。
- ・今回も竹を使いましたが、今回の竹は油抜きされている垣根用の「建仁寺竹」を使い、防腐対策として更に透明の防虫・防腐塗料を塗りました。

神於山シャープの森の看板の復元 午後の部 「神於山」

字のバランスがポイントです。



画数が多いので組み合わせも大変。



3枚連結も慎重に。



最後に看板裏にも防虫・防腐塗装して完成。



復元完了。あとは架設するだけです。参加頂いたGSの皆さんお疲れ様でした。



- ・4月13日の架設予定位置。
- ・将来を考えて、広場との境界線近くを考えています。

シイタケが大豊作。

残った原木への菌駒の打ち込みも終わりましたから、来年以降も楽しめそうです。



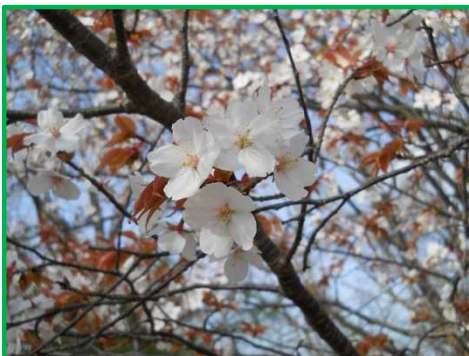
肉厚のシイタケが3月9日以上にとっさり採れました。共生の証です。



- ・スーパーで買うキノコではほとんど見ないのに収穫したシイタケに虫がいるのが気になっていました。
- ・ネットで調べた所、スーパーのキノコは密閉した室内でおがくす栽培しているからそうで、自然の中で原木栽培している場合は避けられないことが判りました。
- ・ムシはキノコバエの幼虫で無害だそうで調理すれば問題は無いようです。
- ・原木栽培の証明だとも言えますが、気になる方は濃い目の塩水に漬けると大急ぎで脱出を始めるそうですからお試ください。
- ・ただ漬けすぎるとしょっぱくて味も風味も無くなりますからご注意ください！

神於山は春爛漫。

ヤマザクラは見頃で、シャープの森の馬酔木も可憐な花を咲かせています。



ヤマザクラ。花と同時に若葉がです。



馬酔木。毎年確実に大きくなり、確実に可憐な花を咲かせてくれます。

